

2022 Japan National Team Report " 国代表 "



報告者氏名	堤 春菜
大会名	The 2022 World Championship
開催地	Bodrum, Turkey
大会期間	June 27 – July 7

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際は、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

開催地域の様子	ヨーロッパ屈指のリゾート地らしい明るく洗練された部分と、混然とした雑多な部分も感じられる大らかな土地だと感じた。
宿泊場所	Mandarin Resort Hotel & Spa 各国の選手団が泊まっており、スライダー付プールでは毎日レース後に選手がクールダウンも兼ねて利用し、とても賑わっていた。食物アレルギーのある選手への対応が随分遅れている。国としてまだ理解が薄いと感じた。
大会の対応は	運営のチームごとに分かれて一生懸命に対応してくれたと思うが、当日や直前に決定する事柄も多かった。
選手たちのコンディションは？	時差もあったが、それ程影響しているようには見受けられず、到着日の翌日から元気に練習を始める事が出来た。ただ大会だけでなく国として、アレルギーのある選手への対応が遅れている印象だったので、乳製品へのアレルギーのある選手は食べられる食材に大変気を使わなければならず大変そうだった。事前にその旨を大会へ伝えてあっただけに、とても残念であった。
役員として気をつけたことは？	日本チームが困った立場に置かれぬように、気になった事は小まめに大会事務局へ確認するようにした。
海外の選手を見て感じたことは？	ウクライナ情勢が危惧される状況下だったが、今回は去年よりも参加国数が多く、去年は参加していなかった中東やアフリカ、またヨーロッパの国々からの選手団もいて文化の多様性を感じられた。

日本の選手を見て感じたことは？	今回は選手5名全員が中学3年生男子だった事もあり、選手の雰囲気は和気あいあいとして良い雰囲気だった。初めての海外遠征の選手もいすが、始めからそこまで気後れしているようには見受けられなかった。
Spare day の過ごし方は？	チームレースの決勝リーグへ駒を進めたため休日はなく、全レース日程へ参加した。
日本チームとしての課題	大会から供されるランチのサンドイッチは食べにくくすぐに飽きる選手も多かったので、サポーターの皆さんが用意してくれるおにぎりに毎日救われていた。
JODAへの要望	今回はAGM ミーティングへ委任状を提出されたとの事でしたが、オブザーバーとして会議に出席しました。委任状を提出しているためもちろん日本の席は無く、資料ももらえませんでした。各国の代表からは熱意あふれる発言もあり、2024 ワールド開催地を決定するまでには何回も投票を繰り返していました。日本にも貴重な一票があったはずであり、それが上手く活かせなかったように感じたのは大変残念でした。去年参加していなかった韓国の代表が参加していましたし、他国に投票をお願いしている国もありました。今年のアジア開催地決定のための別ミーティングがアジアの国々で行われたようですが、その連絡はJODA へ来ていたのでしょうか？現地に行った日本チームへの正式な声かけはなかったもので、そうした状況で日本へ回って来ない状況を危惧しております。AGM ミーティングへJODA の方が参加できるのが最善ですが、きちんと情報を共有していただければ、保護者が代行するのは問題ないと思います。今回も参加国の30%くらいは保護者あるいは監督が代行しているようでした。投票前のロビー活動で、わざわざ日本のブースまで来てくれたオマーンの代表者と話しましたが、委任状を提出している状況を理解してもらったのがちょっと大変でした。JODA あるいはJSAF の方なのかコンタクトをとっていた話を聞きましたが、こちらにその状況は分からなかったもので、返答に困る場面がありました。日本が自ら声なき国となってしまうように、何とか来年以降の対応をぜひ真剣にお考えいただきたいと切に願います。よろしくお願い致します。
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会